

令和2年度第5回小平市社会教育委員の会議要録

と き：令和2年12月17日（木）午前9時30分から10時50分

ところ：市役所5階 505会議室（WEB会議）

1 出席者

小平市社会教育委員 10名
傍聴者 2名

2 内 容

<議題>

資料に基づき、事務局から説明を行った。

- (1) 令和2年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について
- (2) 第51回関東甲信越静社会教育研究大会 新潟大会について

<事務局報告>

各課・各館より、実施事業等について報告した。

【地域学習支援課】

- (1) 令和2年度青少年健全育成講演会（結果報告）
- (2) 第17回小平よさこいスクールダンスフェスティバルの中止について

【図書館】

- (1) 市議会における請願の採択について
- (2) 新しい公文書管理制度の導入について
- (3) 図書館オンライン講座「START UP! レポート作成支援講座」（結果報告）
- (4) 本の福袋
- (5) 第41回ふるさとの新聞元旦号展

<その他>

- (1) 「小平第十一小学校へ複合化する公共施設の方向性」についての説明会

3 議題及び事務局報告についての意見・質疑応答

<事務局報告>

○令和2年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について

委員 某市の委員であったときに、「社会教育委員の見える化」について取り上げた研究テーマに参加した。社会教育委員の目標が見える化する、社会教育の思いが見える化するということが「行動する社会教育委員」に繋がる気がした。ある自治体の事例では、コミュニティ・スクールの学校運営協議会に必ず社会教育委員が委員として参加していることを知ったが、「社会教育委員」というのが地域や学校等を研究しているのにどこにも見えてこない、全然期待をされていないようで残念だということで、社会委員がそこに参加するということがとても重要で必要

なことなのかなと思うようになった。

事務局 現在、教育委員会において、地域学校協働活動の整備を進めている。今まで学校支援という形での取組を中心に進めてきたが、国や都が推進する地域協働活動は、様々な方に地域の核となっていただく、ネットワークになっていただく、そういった取組を推進していくことになるので、社会教育委員の皆様にもご助言やご協力をお願いする機会が出てくることになる。

委員 社会教育を取り巻く状況のライフスタイルの変化の表から、現在の地域での付き合いの程度を年代別に比較すると、20代よりも30代が19%上昇している。個人的に、この関わりの上昇率は子どもが小学校に入学したタイミングであると推測しているところであるが、社会と付き合いいいきっかけではないかと思う。この機会を上手く捉えていけばより継続的な取組が行えるのではないかと思っており、非常に重要な機会であると資料を見て感じた。

○図書館オンライン講座「START UP! レポート作成支援講座」(結果報告)

委員 始まる前からポスターを拝見していて、とてもいい試みと思っていたが、参加者が少なかったようでちょっと残念だなと思った。例えばツイッター等インターネットで広報をしたほうが人が集まりやすいと思うので、今後の広報について何か具体的に考えていることがあればご意見を伺いたい。

事務局 図書館としても、最初の取組でチャレンジしてみたところであるが、ご指摘のとおり、参加人数からするとちょっと残念な結果になった。一番大きな課題としては周知の仕方かと思う。ホームページや市報で周知したところではあるが、ツイッター等SNSでの広報ができていれば結果は違ったのではないかと考えている。今後の取組については、いただいたご意見も踏まえて検討していきたい。

委員 Zoomを使用した講習は非常に良い試みであると思う。ただ、Zoomで行うと参加者が気軽にキャンセルしてしまう傾向にある。事前に申込みした方だけがその講習に参加できるのだということを周知の際に伝えるようにしたほうがよいと思う。

○本の福袋について

委員 携わっている中学校でも福袋を行っていて大変好評だと聞いている。楽しみにしている方が大勢いらっしゃると思うので、今後もぜひ続けていただきたい。福袋の対象年齢について、子ども向けの絵本の福袋があるのか、どういう年代の方が福袋を借りているかを教えていただきたい。

事務局 福袋は、子ども向けには絵本を中心とした0歳～2歳児向けのカテゴリー、3歳～6歳児向け、小学生は2学年ごと、中高生向け、大人向けのパックでそれぞれ用意している。どのパックをどのくらい作ったかは把握している。例年、子ども向けの福袋が人気傾向である。今年はコロナ禍で若干傾向が違って来るかとは思いますが、これから貸し出しが始まるころなので、状況を見ながら対応していきたい。

委員 福袋について、利用停止中になっている方は貸出不可と市報に掲載されていた。今までこの文言を見たことがなく、初めてだったので貸出不可の詳細について伺いたい。

事務局 通常、貸出期限から3週間を過ぎても本の返却をいただけないような場合には、利用停止にさせていただきます。返却があれば、その都度利用停止を解除するという取り決めがある。この本の福袋も基本的には本の貸出サービスであるため、これに準じている。

委員 福袋企画はとても素晴らしい企画だと思う。特に子どもたち、今年の冬休みは外出する機会が少なくなるので、学校でも本の貸出、この福袋コーナーというのを企画できたらと思った。また、子どもたちへの周知について、市報以外でも知らせる機会を作っていただけたら有難い。

○令和2年度青少年健全育成講演会（結果報告）

委員 「ウェブ会議アプリ入門講座」に参加し、本日のWEB会議が始まる前でも参考になって、自信をもって参加することができ、ありがとうございました。

○成人式について

委員 中止にする自治体が多い中、小平市は二部制で実施していただくということで大変有難い。オンラインで実施する自治体もあると聞いたが、小平市はオンラインでの実施は検討視野に入っているか。

事務局 現在、東京都下26市は中止を決定している自治体はない。オンラインでの実施については、並行して実施する自治体が複数あることは承知している。小平市では、成人式実行委員の方が主体となり、式典の部分のみにはなるが、午前、午後両部とも式典をインスタライブで配信する予定になっている。

<その他>

○「小平第十一小学校へ複合化する公共施設の方向性」についての説明会

委員 複合化の考え方について大賛成である。各学校の老朽化が進むにつれて、十一小が先進的なモデルケースになっていくと思うので大いに期待している。

委員 公共施設のマネジメントの説明会について、全3回を通じて19名の参加ですごく残念な感じがある。私たちの身近な小学校、公共施設の話なので、もう少し市民の方や学校関係者が関心を持ってこの説明会に臨んで欲しいと思った。やはり広報をもう少し工夫していただきたい。

委員 一つの建物の中で地域の拠点と学校が入り、それがどういうふうにつながっていくのかこれから楽しみである。期待している。

委員 今後コロナ感染者が増加していく中で、公民館の活動の自粛等要請を出す検討はしているのか。

事務局 今後の活動についての制約・制限は今のところ未定である。ただ昨今の新型コロナウイルス感染拡大の状況から、施設を管理している所管課担当とは話し合いの場を持っており、また、保健所からの情報も入るため、今後検討していかねばならない。

委員 公民館利用について、入館時の体温チェックをしていただけるともっと安心だと思う。そういった検討プランがあるのか。

事務局 検温については、基本的には自宅で検温していただくようお願いをしている。
ただ、サークル活動ではない公民館の主催講座については、入室していただく際に非接触型の体温計でチェックをし、安全を図っている。

委員 放課後子ども教室の資料、パンフレットありがとうございました。その中で、特別な支援を必要とする児童生徒の受け入れのところで、学童クラブとの兼ね合いで参加してくるのか、またはそれとは関係なく支援を必要とする子どもが希望して参加してくるのか。その内容を知りたい。

事務局 放課後子ども教室の特別な支援を必要とする子どもに対する取組について、学童クラブに限ったものではない。各学校において特別な支援が必要と思われるお子様がいらっしゃる場合に、各学校のコーディネーターから市に要望を提出していただき、必要な人員を配置できるように取組を行っている。

委員 特別な支援を必要とする子どもに対するサポーターというのは、各学校で探すのか。市で探していただけるのか。

事務局 各学校において探していただいている。